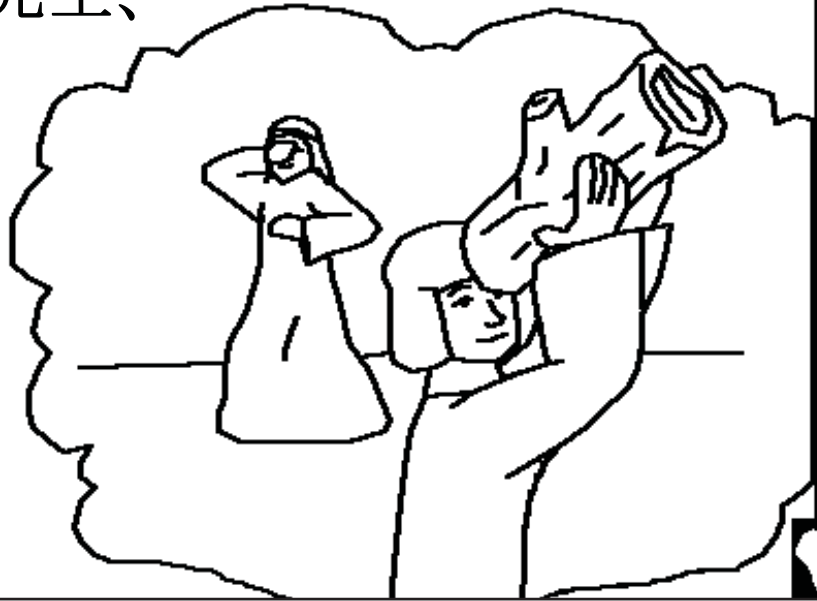


こども
子供のインターネットバイブル
案内いたします

せんせい
すばらしい先生、
イエスさま



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Byron Unger; Lazarus

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: E. Frischbutter; Sarah S.

60話の第42話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese



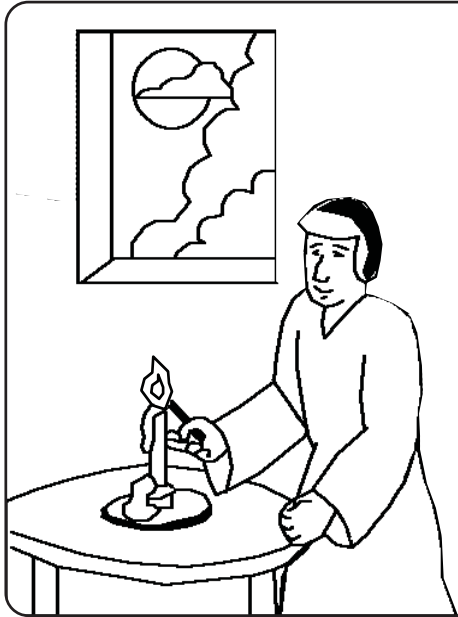
せんせい
イエスさまほどすばらしい先生は、
ひと
ほかにありません。たくさんの人々が、
イエスさまのおはなしを、聞きにやってきます。
「あわれみぶかく、やさしく、
しんせつでありなさい。」

1



イエスさまは、
ひと
こう言われました。ほかの人たちは、
きらったり、キズつけたりするかもしれません。
でも、かみ
神さまが、ちゃんとまもり、
たす
助けてくださるのです。

2



イエスさまは、
 たくさんのお話を、
 おしえてくださいました。
 神さまの人々は、
 ちょうど家の中のろう
 そくのほのおよう。
 この世界をてらし
 だしているのです。
 どんなにまっ暗のへ
 やの中でも、もし、
 一本のろうそくの光
 があれば、どうですか。
 どんなにちがう
 ことでしょう！

3



「目には、目を。歯には、歯を。」人々は、このことばを聞いて、
 「し返するのはあたりまえ」ということだと、思っていました。でも、
 そうではありません。イエスさまは、
 ゆるし、しんせつにし、
 そして愛しなさいとおし
 られているのです。
 自分と、
 けんかしている人でもね。

4



イエスさまのじだい、
 ある人々は、わざと、神さまを信じ、
 つかえているようなふりをしました。
 その人たちは、びんぼうな人にお金をあげるとき、
 だれかに大きな音で、トランペットを、
 ふかせました。なぜなら、みんなに、
 自分の良いおこないを見てもらいたい
 からです。

5



そこで、イエスさまが言われました。
 「人に良いことをするときには、だれにも
 見られないところで、行いなさい。
 そうすれば、神さまが、
 ほめてくださるだろう。」

6



イエスさまは、お祈りについても、同じことをおしえられました。
 ある人々は、わざと、とてもにぎやかな町などで、祈りました。なぜなら、
 みんなにお祈りしているところを、
 見てもらいたいからです。
 その人たちは、神さまのことは、
 どうでもいいのです。

7



ただ、ほかの人々が、
 自分のことをどう思うかを、
 気にしているのです。イエスさまは、
 その人たちのことを、こうよばれました。
 「ぎげんしゃ」ってね。つまり、ほかの人に、
 自分をよく見せようとしている人ですね。

8

イエスさまは、おしえられるとき、よく自然のできごとを、使いながらはなされました。たとえばね、空のとりを、ゆびさして言われましたよ。「とりを、見てごらん。あなたの天のお父さまは、とりにえさをくださっているでしょう。だから、

しんばいしないで。神さまは、もちろん、あなたがたにも、ちゃんとくださるのです。」



9

イエスさまは、つづけて言われました。「あのお金もちのソロモン王も、野にさいているユリの花みたいに、うつくしくきかざることは、できなかったでしょう。だから、もし、神さまが、野の草にきせてくださるのなら、あなたがたにも、きせてくださらないはずがないでしょう。」



10

イエスさまは、このように言って、神さまを信じることを、おしえていらっしやいます。神さまは、わたしたちが、ひつようなものは、すべて用意してく下さるのですね。



11

「もし、あなたが、兄弟のことを、わるいかわるくないかとさばくなら、それは、ちょうど、兄弟の目から、小さなおがくずを取ろうとしているようなもの。ほんとうは、自分の目の中に、ものすごく大きな木のぼうが、入っているのね。」イエスさまは、こう言われました。



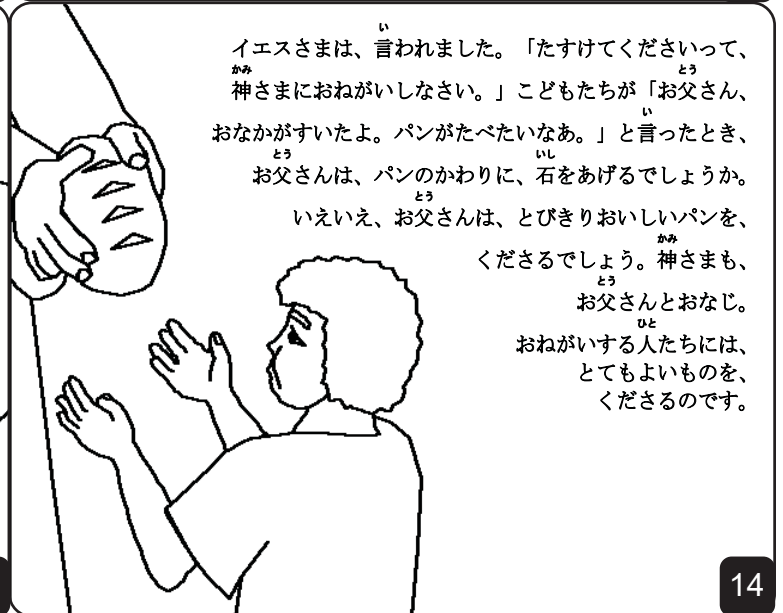
12

たぶん、これを聞いた人々は、くすくすわらったことでしょう。けれども、イエスさまの言われたいみを、もっとよく考えなければなりません。わたしたちは、自分のことは、気がつかないものです。



13

イエスさまは、言われました。「たすけてくださいって、神さまにおねがいしなさい。」こどもたちが「お父さん、おなかがすいたよ。パンがたべたいなあ。」と言ったとき、お父さんは、パンのかわりに、石をあげるでしょうか。いえいえ、お父さんは、とびきりおいしいパンを、くださるでしょう。神さまも、お父さんとおなじ。おねがいする人々には、とてもよいものを、くださるのです。



14

イエスさまは、ほんとうにすばらしい先生。あるとき、にせの先生について、言われました。「気をつけなさい。かれらは、ただ、ヒツジの毛皮をつけているだけ。でも、ほんとうは、オオカミ！」

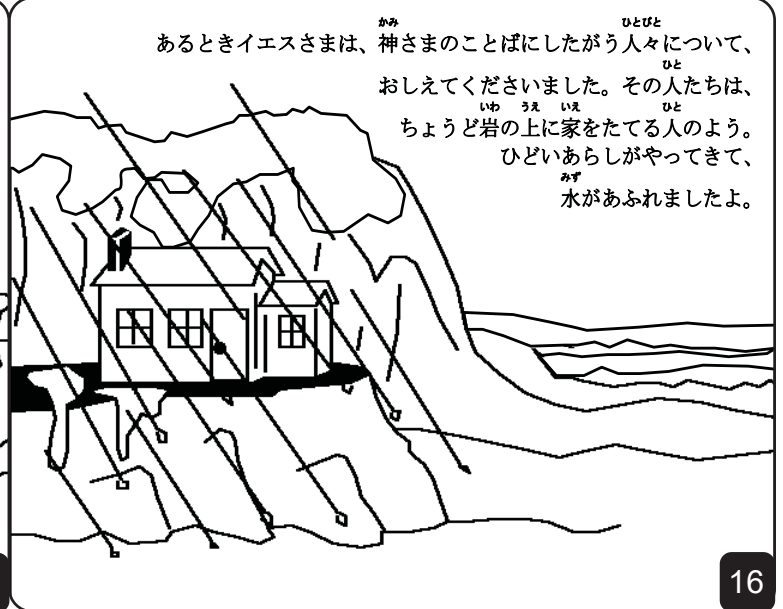
みなさん、よく見てごらん。にせの先生が、どのように生きているかをね。それを見れば、すぐばれてしまうのですよ。



15

あるときイエスさまは、神さまのことばにしたがう人々について、おしえてくださいました。その人たちは、

ちょうど岩の上に家をたてる人のよう。ひどいあらしがやってきて、水があふれましたよ。



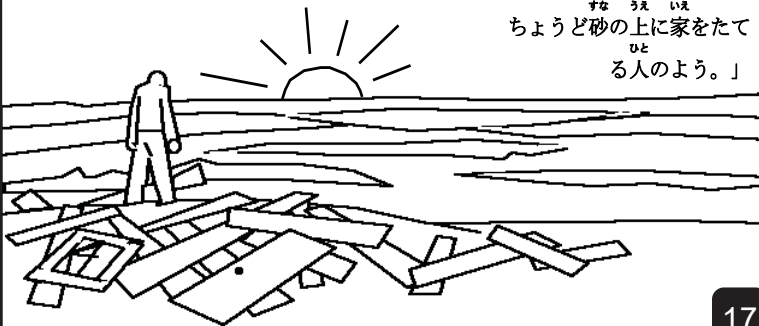
16

さて、家は？もちろん、だいじょうぶ。びくともしませんね。では、おろかな人が、たてた砂の上の家は、どうなったでしょうか。

ひどいあらしがやってきて、びゅうびゅうと風がふきました。さて、家は？

あれあれ、ばらばらですよ。なぜって、その家の土台が、よわかったからです。イエスさまは、言われました。

「神さまのことばにしたがわない人々は、ちょうど砂の上に家をたてる人のよう。」



17

イエスさまのおはなしを聞いて、人々は、ほんとうにびくりましたよ。なぜって、そのようなおはなしは、いままでも、

いちども聞いたことがなかったからです。みんなは、よくわかりました。ただ、神さまのことばを、聞いているだけじゃ、じゅうぶんじゃないのです。

一日、一日、神さまのことばどおりに、したがっていかなければってね。



18

すばらしい先生、イエスさま

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

マタイによる福音書 5 章— 7 章、ルカによる福音書 6 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺをくらっています。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くされることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてください。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしゃることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！